

新型コロナ感染防止対策： 自分が感染しない、人にうつさない → 自分は感染していると想定して行動

1. ウイルスを持ち込ませない

職員

- ・健康管理：外出の自粛（外出時マスク着用）、手洗い（流水と石鹸）／擦式アルコール手指消毒薬
- ・健康チェック：体温測定、本人もしくは家族に体調不良があれば休む（早めに管理職と相談）

入所者

- ・面会禁止、ボランティア休止、理美容休止、訪問歯科休止
- ・やむを得ない面談・面会・受信時は必ずマスク着用（定期受診は延期してもらう）

入所および短期入所の受け入れ（緊急事態宣言発令中は原則不可）

- 1) 入所前の健康チェック：体温、症状、受診の有無、処方追加（特に解熱剤）、家族の体調
- 2) 利用基準：入所前々日と入所前日の2日間、本人および家族に37.0℃以上の発熱や症状がない
- 3) お迎え時・来所時：マスク着用、手指消毒、体調の確認、体温測定
- 4) 入所オリエンテーション：本人のみフロアへ、家族へのICは1階で
- 5) 部屋：入所当初（1-2W）は個室を利用（短期入所も個室を利用）
- 6) 短期入所：利用中に発熱や症状があれば、速やかに退所

2. 感染を拡げない

職員

- ・手洗い／手指消毒（1ケア毎）、手袋着用（1ケア毎）、サージカルマスク着用
- ・状況に応じて、使い捨てエプロン（1ケア毎）とアイゴーグル（又はフェイスシールド）を着用
- ・スタッフ各自で手指消毒薬（カネパス）を携帯用ボトルで所持
- ・共用備品（コンピューター、カルテ、文房具など）の使用前後で手指消毒
- ・休憩時間をできるだけ分散する（会話は互いにマスクを着用して行う）
- ・互いにマスクを着用していても2m以内での30分以上の会話は避ける（できれば10以内で）
- ・食事は人の間隔をあけて座り（対面に座らないように互い違いに座る）、食事時の会話は控える
- ・会議は人の間隔をあけて座り、必要最小限で短時間とする
- ・職員の自分の部署以外での兼務は必要最小限とする（兼務メンバーはできるだけ固定）

入所フロア

- ・発熱もしくは症状があれば個室で管理（マスク着用、食事も個室で）、要注意者はステーション前
- ・手洗い／手指消毒をきっちりと：排泄後、食事前、リハビリ前後など
- ・密閉しない：共有スペースの換気は2時間に1回10分間（2方向に窓を開けて風の流れを作る、気候のいい時は常時開窓）。居室のベッド間のカーテンは換気時以外きっちり閉める。
- ・密集しない：食事以外の時は用事がなければ居室で過ごしてもらう。レクやカラオケは休止。輪になるような座り方はしない。リハビリには個別で（集団はしない）。
- ・密接しない：入所者同士の距離（1~2m以上離れる）に留意。直接接触合わない。近距離での会話は控えてもらう。嚙下体操時に発生しない。立ち上がり運動も2組に分ける。

消毒の徹底

- ・環境共用部分（手すり、ドアノブ、トイレの便座・手すり、蛇口、テーブル、オーバーテーブル、エレベーターのボタン、電気のスイッチ、ベッド柵などの高頻度接触表面）
- ・共用備品（体温計、血圧計、パルスオキシメーター、聴診器、リハビリ器具、関連用品など）